

日刊建設通信新聞（2021年11月10日付1面掲載）

【元オリコンサル清野社長お別れの会 350人参列 志を継ぐ】

元オリコンサル清野社長お別れの会 350人参列 志を継ぐ

5月15日に逝去したオリエンタルコンサルタンツ元社長・会長で相談役名誉会長の清野茂次氏のお別れの会が9日、東京都新宿区の京王プラザホテル東京でしめやかに営まれた。建設産業界などから関係者ら約350人が参列し、祭壇に献花して故人との別れを惜しんだ＝写真。

清野氏は、オリエンタルコンサルタンツを1958年12月の発足時から長く支え、総合建設コンサルタントとして成長させるとともに、団体活動にも積極的に取り組み、インフラコンサルタントの社会的地位向上に尽力した。

式典では石井弓夫建設技術研究所名誉顧問らがお別れの言葉を寄せ、故人の人となりや功績をたたえた。お別れの会委



員長を務めた野崎秀則オリエンタルコンサルタンツ社長は、「当社の基盤をつくったその意志と行動力はスピリッツとして引き継がれていく。私たちは故人の掲げた想いを忘れず、建設コンサルタントのあるべき姿に向けてまい進し、地域・社会に貢献していく」と語り、喪主で長男の清野勝氏は「皆さまに支えられ、改めて父は幸せな人生、満足した人生だったと思う」と謝辞を述べた。